

サンシャインランゲージスクール

2025 年度 自己点検・自己評価報告書

2026 年 3 月実施

一、自己点検・自己評価実施体制

本校は、日本語教育の質向上及び学校運営の継続的改善を目的として、毎年度自己点検・自己評価を実施している。

(1) 実施時期

毎年 1 回、3 月末に実施する。

(2) 実施方法

教職員アンケート、学生アンケート、面談記録、出席状況、学習成果、進学状況等を基に実施する。

(3) 実施責任者

校長 野澤 拓夫

(4) 自己点検・自己評価委員会

委員長 野澤 拓夫（校長）

副委員長 海野 章子（教務主任）

委員 林 利央（事務主任）

委員 牧 宏志（教務・進路指導）

委員 張 開宇（生活指導・留学生支援）

(5) 自己点検・自己評価の結果について

自己点検・自己評価の結果については、本校ホームページにて公表し、教育の質向上及び学校運営改善に活用している。

二、評価基準

4：達成している

3：概ね達成している

2：一部改善が必要

1：改善が必要

※自己点検・自己評価項目については、一般財団法人日本語教育振興協会「日本語教育機関のための自己点検・評価項目（2025 年版）」を参考にした。

三、自己点検・自己評価結果

1 教育理念・教育活動

点検項目	評価
教育理念が明確に定められているか	4
教育目標が教育理念と連動しているか	4
教育理念が教育活動に反映されているか	4
教育課程は教育目標に沿って編成されているか	4
適切なクラス編成を行っているか	4
学習成果の確認を行っているか	3
授業改善を行っているか	4
ICT 活用を進めているか	4

現状

本校では「相互理解のための日本語教育」を教育理念として掲げ、多様な文化や価値観を理解し、主体的に行動できる「日本語人」の育成を目指している。

教育理念及び教育目標については、校内掲示、入学時オリエンテーション、教職員会議等を通じて学生及び教職員へ周知している。また、日本語能力の向上だけでなく、日本社会理解、生活指導、多文化理解及び主体的に学ぶ姿勢の育成を重視した教育活動を実施している。

教育課程については、進学課程を中心とし、JLPT 及び EJU 対策を含めた体系的なカリキュラムを編成している。プレイスメントテスト及び面談を通じて適切なクラス編成を行い、学生の理解度に応じた指導を実施している。

各教室には大型モニターを設置し、教員にはノートパソコンを貸与している。PowerPoint 等のデジタル教材を活用した授業を実施し、ICT を活用した教育環境の整備を進めている。

また、定期試験、出席状況、課題提出状況、授業態度等を総合的に分析し、学習成果の把握及び学生指導・進路指導に活用している。教室内外における多文化交流や対話型学習を通じて、相互理解を深めながら主体的に学ぶ力の育成に取り組んでいる。

課題

教育理念を授業実践及び学習成果へより具体的に反映させるとともに、学習成果分析の結果を授業改善へ効果的に結び付ける仕組みをさらに強化する必要がある。

改善計画

- ・教育理念と授業実践との連携強化を図る。
- ・学習成果の分析及び教育活動への反映を推進する。

2 学校運営・教職員育成

点検項目	評価
組織体制が整備されているか	4
教職員の役割が明確化されているか	4
情報共有体制が構築されているか	4
法令遵守体制が整備されているか	4
教員研修を実施しているか	4
外部研修参加を推進しているか	4
教職員評価を行っているか	3

現状

本校では、校長、教務主任及び事務主任を中心とした運営体制を整備し、教職員それぞれの役割を明確にした上で学校運営を行っている。

教職員間では報告・連絡・相談を徹底し、教職員会議及び教員ミーティングを定期的を実施することで、学生状況、出席状況、進学状況及び学校運営上の課題について迅速な情報共有を行っている。また、出入国在留管理局及び関係機関への各種届出についても適切に対応している。

学生情報管理システム及びクラウドサービスを活用し、未出席者や指導が必要な学生に関する情報を教職員間で日常的に共有している。

教職員育成については、3か月ごとの校内研修に加え、教務主任を中心として外部研修及びセミナーへの参加を推進している。研修内容については教職員間で共有し、授業改善及び教育力向上に活用している。

また、新任教員に対しては授業見学、教案確認及びフィードバックを実施し、授業運営能力及び学生対応力の向上を図っている。また、教職員評価を実施し、業務改善及び人材育成に活用している。

課題

教職員間の情報共有体制は概ね整備されているが、記録管理及び情報共有方法について、さらなる効率化及び統一を図る必要がある。また、新任教員への育成及び教職員へのフィードバック体制について、継続的な充実が求められる。

改善計画

- ・校内情報共有体制及び記録管理の充実を図る。
- ・教職員研修及び人材育成の充実を図る。

3 入学者募集・選考

点検項目	評価
学校情報を公開しているか	4
募集情報を公開しているか	4
多言語で情報提供しているか	3
適切な募集活動を行っているか	4
募集代理人との連携を行っているか	4
適切な入学選考を行っているか	4
学習意欲等を確認しているか	4
募集代理人による不適切な手数料徴収がないことを確認しているか	4
募集代理人への仲介手数料が適正に設定されているか	4

現状

本校では、学校ホームページ、募集要項及び各種広報媒体を通じて学校情報及び募集情報を公開している。学校ホームページは日本語及び中国語に対応しており、英語についても翻訳機能を活用した情報提供を行っている。

学生募集については、教育理念及び教育方針に基づき、進学意欲及び学習意欲を重視した募集活動を実施している。募集代理人と継続的に連携し、学生の学習状況、日本語能力及び進学意欲等について情報共有を行っている。

入学選考においては、オンライン面接及び書類審査を通じて、留学目的、日本語学習意欲、日本語能力、経費支弁能力等を確認し、本校の教育方針及び進学課程に適した学生の受入れを行っている。

また、募集代理人との契約及び定期的な情報交換を通じて、法令遵守及び適正募集の徹底に努めており、不適切な手数料徴収が行われていないことを確認している。また、募集代理人への仲介手数料についても契約に基づき適正に設定・管理している。

課題

今後の国籍多様化に対応するため、多言語による情報発信体制のさらなる充実を図る必要がある。また、新たな募集地域への対応や各国・地域の事情に応じた募集及び選考体制の強化が求められる。

改善計画

- ・多言語による情報提供体制の充実を図る。
- ・募集及び選考体制の継続的な改善を行う。

4 学生支援

点検項目	評価
生活指導を行っているか	4
進路指導を行っているか	4
多文化共生支援を行っているか	3
面談体制を整備しているか	4
多言語支援を行っているか	3
生活指導担当者を配置しているか	4
進路指導担当者を配置しているか	4

現状

本校では、学生一人ひとりが安心して学び、主体的に進路実現へ取り組めるよう、学習面・生活面・心理面において教職員全体で支援を行っている。

また、生活指導担当者及び進路指導担当者を配置し、学生一人ひとりの状況に応じた継続的な支援を行っている。

定期面談を学期ごとに実施しているほか、出席率の低下、学習態度、生活状況及び心理面等に課題が見られる学生については、速やかに個別面談を実施し、面談記録を保存・共有している。

進路指導については、個別面談を重視し、学生一人ひとりの希望進路や学習状況に応じた指導を行っている。進学希望者に対しては、過去の進学実績や出願基準等を踏まえ、受験準備及び進学方法について具体的な指導を実施している。

現在は中国籍学生を中心として学生支援を行っているが、今後の国籍多様化に対応するため、多言語支援及び異文化理解支援体制の整備を進めている。

課題

今後の国籍多様化に対応するため、多言語による学生支援体制及び異文化理解支援体制をさらに充実させる必要がある。また、異なる文化的背景を持つ学生が安心して学習及び生活できる環境整備を継続的に進める必要がある。

改善計画

- ・多言語による学生支援体制の充実を図る。
- ・異文化理解及び進路支援体制の強化を図る。

5 入国・在留管理

点検項目	評価
出席管理を適切に行っているか	4
在留管理を適切に行っているか	4
資格外活動指導を行っているか	4
問題学生への個別対応を行っているか	3

現状

本校では、出席状況の確認を定期的実施し、欠席者に対しては速やかに連絡及び面談を行っている。出席率については毎月及び学期ごとに分析を行い、必要に応じて学生指導へ反映している。また、在留期限及び資格外活動時間について定期的に確認し、法令遵守に関する指導を行っている。学生情報管理システムを活用し、出席状況、在留情報、面談記録等を教職員間で共有している。

出席不良や生活状況等に課題が見られる学生については、個別面談及び指導を実施し、継続的な支援を行っている。卒業予定者に対しては、進路確認及び在留資格に関する指導を継続的に実施している。

課題

卒業後の進路未定者に対する進路確認及び在留管理について、継続的な把握体制の強化が必要である。また、問題学生への早期対応体制の充実が求められる。

改善計画

- ・進路確認及び在留指導体制の強化を図る。
- ・問題学生への早期対応及び支援体制の強化を図る。

6 施設・設備

点検項目	評価
教育環境が整備されているか	4
学習環境が確保されているか	4
ICT 設備整備を進めているか	4
安全対策を実施しているか	4
健康診断を適切に実施しているか	4

現状

本校では、教室内の照度や換気等について適切に管理し、良好な学習環境の維持に努めている。ICT 設備については継続的な更新及び保守管理を実施し、安定した教育環境の維持に努めている。また、授業時間外には空き教室を自習スペースとして開放し、学生の自主学習を支援している。教員にはタブレット端末を貸与し、授業運営及び学生情報共有に活用している。

さらに、入学後の健康診断及び定期健康診断を実施し、学生の健康管理に努めている。

安全対策として、避難訓練、防災指導及び防災施設見学等を実施し、学生が安心して学習及び生活できる環境整備に取り組んでいる。

課題

ICT 設備、健康管理及び安全対策について、継続的な運用及び改善を行う必要がある。

改善計画

- ・ICT 環境の整備及び活用を推進する。
- ・健康管理及び安全対策の充実を図る。

7 地域貢献・社会貢献

点検項目	評価
地域交流活動を行っているか	4
異文化理解活動を行っているか	4
地域社会との連携を進めているか	4

現状

本校では、学生が日本社会及び地域社会への理解を深めることを目的として、日本文化理解活動及び地域交流活動を実施している。

地域清掃活動や警察署による生活安全講習への参加のほか、書道体験、七夕、初詣等の日本文化体験活動を通じて、日本社会への理解促進に取り組んでいる。

また、学校行事や課外活動を通じて学生同士の交流を促進し、異文化理解及び共生意識の育成に努めている。

課題

地域交流活動及び日本文化理解活動について、継続的な充実及び発展を図る必要がある。

改善計画

- ・地域交流活動及び日本文化理解活動の充実を図る。

8 財務

点検項目	評価
安定した財務運営を行っているか	4
適切な予算管理を行っているか	4
継続的な学校運営体制を整備しているか	4

現状

本校では、安定した学校運営を継続するため、適切な予算管理及び収支管理を行っている。

また、顧問税理士及び会計事務所と連携し、適正な会計処理及び財務管理に努めている。

教育活動及び教育環境の維持・向上を図りながら、継続的かつ安定的な学校運営を行っている。

課題

安定した学校運営を継続するため、継続的な学生確保及び財務基盤の維持が必要である。

改善計画

- ・安定した学校運営及び財務基盤の維持に努める。

9 教育成果

点検項目	評価
学習成果を把握しているか	4
JLPT などの結果を分析しているか	4
学習成果を授業改善に活用しているか	4
成績評価、進級判定、卒業判定は適切に行われているか	4
進学状況を把握しているか	4
卒業後状況把握を行っているか	3

現状

本校では、JLPT 及び EJU の受験結果を継続的に把握・分析し、学習指導及び進路指導に活用している。また、学生一人ひとりに対して定期的な個別面談を実施し、学習状況や進路希望に応じたきめ細かな指導を行っている。

学習成果については、試験結果のみならず、出席状況、授業参加状況、学習態度等を含めて総合的に評価し、授業改善及び教育活動の質向上に反映している。

進学実績についても継続的に分析を行い、教育内容及び進路指導体制の改善に活用している。成績評価、進級判定及び卒業判定については、学則及び成績評価基準に基づき、公正かつ適切に実施している。

課題

卒業後の進路状況把握及び卒業生との継続的な連携体制について、さらなる充実が必要である。

改善計画

- ・卒業生との連絡体制を強化し、進学状況の継続的な把握に努める。
- ・JLPT、EJU 及び進学実績等の分析結果を教育活動及び進路指導へ継続的に反映する。

四、総合評価

本校は、日本語教育の質向上及び学校運営の継続的改善に取り組み、概ね適切な教育活動及び学校運営を実施している。教育活動においては、ICT を活用した授業運営、個別進路指導、日本文化理解活動、地域交流活動等を継続的に実施している。

学生支援においては、定期面談、生活指導、在留指導及び進路指導を通して、学生が安心して学習及び生活できる環境整備に努めている。

今後は、認定日本語教育機関制度に対応した内部質保証体制をさらに強化し、教育成果分析、ICT 活用、教職員育成及び学生支援体制の充実等を通して、日本語教育の質向上に継続的に取り組んでいく。

五、今後の重点改善項目

- ・ 内部質保証体制の強化
- ・ 学習成果分析及び授業改善の充実
- ・ 教職員研修及び情報共有体制の充実
- ・ 多言語支援及び異文化理解支援体制の整備
- ・ 進路指導及び在留管理体制の充実